

午前の部

絵本の読み聞かせ&紹介

準備

ジェンダー格差や多様な価値観に関する情報を、見聞きする機会が増えてきました。身近な問題として、私たちは何から始めればよいのでしょうか。そこで、私たちは、絵本や漫画は、楽しくわかりやすく伝える方法の一つではないかと考えました。今回は絵本を取り上げました。

私たちは、図書館や男女平等・共同参画センター資料室や書店にある書籍の中から、社会的、文化的に作られた性に関する内容を取り上げた絵本を探しました。

さらに、区立図書館の方に、図書館の蔵書から人権や性の多様性に関わる絵本の紹介と、絵本の読み聞かせをする場合の環境



づくりや読み手の準備方法などについて話してもらいました。

フォーラム前日、展示している絵本を手にとって見ていただけるようスペースを広くし、絵本の読み聞かせコーナーなどの会場準備、また、男女平等共同参画センター運営委員おすすめ絵本リストを用意しました。

当日

会場に入ると、50冊余りのストーリーで学ぶ人権、性自認などについての絵本が並び展示が目にとまります。その周りで、みなさんがそれぞれに絵本を手に取り読んでおられました。

小さなお子さんと一緒に来場された二組の親子が、マット敷きのコーナーに座りましました。そこで、お子さんの様子を見ながら読み聞かせ。お子さんは絵本に注目、暫くすると周りの大人を見て笑顔に。その傍らでは、数冊の絵本を見ながら、親御さんと運営委員が歓談という場面もみられ、小さなお子さんの笑顔に周囲もほっこりしました。

読み聞かせのコーナーに、運営委員一押しの本を展示しました。展示した本は以下のとおりです。

- 「アボカド君のなやみごと」



- 「とうさんはタツノオトシ」

- 「わたしとなかよし」

- 「あなたはちつともわるくない」

- 「せかいでいしょにレスポンはいた女の子」

- 「ちからもちのおかね」

来場者の方から読み聞かせの始め方を問われ、お好きな本を読みますよとお伝えしたところ、リクエストをいただきました。大人に読み聞かせをするのは、読み手も緊張しました。皆さん、良い聞き手になってくださったので、お話の内容が伝わったように感じました。

絵本の読み聞かせ & 紹介を終えて

- ・絵が話の内容理解を深める
- ・絵本が話すきっかけになる
- ・年齢に応じた絵本があり、性に関する内容も簡潔に整理されていて、忙しい大人も目を通しやすい
- ・来場してくださった方々と気持ちのキャッチボールができる
- ・といった声があり、性の多様性やジェンダー格差などを楽しくわかりやすく伝えるという課題を、前進させる手段になりうると思えました。

また、「子どもや孫に読み聞かせてきたけれど、自分が読み聞かせてもらったのは初めて。とても新鮮で心地よかったです。」とシニアの方からの感想をいただきました。お気に入りの絵本を見つけた方もいらつしゃったようです。

読み聞かせコーナーに展示した絵本は、それぞれメッセージが込められているので、お伝えする方法は工夫の余地があると感じました。

乳幼児と小学生も親子で参加されました。お子さんが将来、本人がやりたいことができる多様性がありジェンダー格差がない社会を目指して、私たちがいまできることを続けていきたいと思います。

人権週間記念トークセッション2022

午後の部

「LGBTって何だろう?」

ありのままで輝くとは

ありのままで輝く
自分の人生を自分の意志で決める

目黒区公式チャンネルで、12月より公開している動画「LGBTって何だろう?」でナビゲーターを務めた熟田桐子さんと参加者と一緒に動画を視聴したあと、ミニトークをするイベントが開かれました。

動画では、LGBTの当事者で、フェンシング元女子日本代表で東京レインボープライド共同代表の杉山文野さん、シヨールパブ立川杏門などを設立した一ノ瀬やす子さんをゲストに迎え、それぞれの生い立ちから、自分自身の素直な「好き」という気持ちを大切に歩んでこられた半生が、そ

安心できる居場所があったから、輝く生き方を見つける

それぞれの言葉で熱く語られました。(動画はページ下部のリンクよりご覧になれます)

ミニトークでは、熟田さんのご実家のお風呂屋さんで、さまざまなき方をしている大人たちと交流のあった子ども時代のエピソードが聞かれました。また、熟田さん自身がパブルの絶頂で華やかな世界で輝きを体現し、現在も心理カウンセラーをしながら「ありのままで輝く」生き方を貫いてきたこと、その基礎には、自分のことを肯定し続けてくれた家族という安心できる

等身大のまま自分の幸せを追求できる目黒へ

LGBTの方も、女性も、男性も、全ての人々が本心に好きなことを通して生きることができ、社会にあらがわなくても、等身大の自分のまま、自分にとっての正解を追求する権利があるはず。こうした一人ひとりの権利を大切にす取り組みを一人の区民として目黒区政に求め続けたいと思った一日でした。(取材執筆担当：濱田・鷺尾)

※この記事は目黒区男女平等・共同参画センター運営委員会のメンバーが取材・執筆しています。



目黒区公式チャンネル
動画「LGBTって何だろう」
はこちらから視聴いただけます。

